

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	緑地保全推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	基金繰入金	その他	市債	一般財源
令和4年度	3,369,963	889,210		879,753		1,601,000	0
補助事業	2,528,903	889,210		465,693		1,174,000	0
単独事業	841,060	0	0	414,060		427,000	0
令和3年度	3,317,793	874,950		935,843		1,507,000	0
増△減	52,170	14,260	0	△ 56,090	0	94,000	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	3,646,110	3,428,856	3,794,380	3,355,793	-	-
算 市債+一般財源	1,018,000	1,749,000	1,640,000	1,507,000	-	-
決 事業費	3,646,110	3,652,809	2,338,780			
算 市債+一般財源	1,018,000	1,749,000	1,270,000			

事業概要	市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、法に基づく買入れ申し出や、不測の事態により所有者から買入れ申し出があった場合に対応します。								
事業開始年度	昭和44年								
根拠法令・方針決裁等	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、緑の環境をつくり育てる条例、横浜市市民の森設置事業実施要綱/横浜市緑地保存事業実施要綱/横浜市源流の森保存事業実施要綱								
事業目的・効果 (必要性)	みどりアップ計画[2019-2023]に基づき、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐため、5か年で300haの指定を目指して、特別緑地保全地区を始めとする緑地保全制度への指定を積極的に進めます。また、特別緑地保全地区等の指定地で、不測の事態等が発生し、本市への買入れ申し出があった場合には、樹林地の買取りに対応します。								
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 緑被率 (令和元年度調査結果)								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
緑地保全制度の 新規指定面積	単位	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-	-
	ha	実績	47.2	28.9					
緑地保全制度の 買取り等面積	単位	想定	23.0	23.0	22.6	22.5	22.5	-	-
	ha	実績	19.2	18.9					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	年間を通じて、緑地保全制度の指定を進めるとともに、買入れ申し出に対応								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	3,369,963	3,317,793	52,170
	細事業合計	3,369,963	3,317,793	52,170	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	関口 昇	宇野 絃子	野本 武頌

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	良好な森の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	635,824				635,824		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	604,388				604,388		0
増△減	31,436	0	0	0	31,436	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
算 市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決 事業費	544,123	482,282	602,200			
算 市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	みどりアップ計画により保全した森を次世代に引き継いでいくため、森に期待される多様な機能が発揮できるよう良好な森づくりを進めます。								
事業開始年度	平成21年度								
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例/横浜市民の森設置事業実施要綱/ふれあいの樹林設置事業実施要綱/都市公園法/横浜市公園条例								
事業目的・効果 (必要性)	<p>都市における緑には、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など多くの機能や役割があります。これらを次世代に引き継いでいくためには、これらの機能や役割に配慮した良好な森づくりが求められます。このため、地域の特性を踏まえ、愛護会等と連携して保全管理計画を策定し、森づくりガイドラインを活用した維持管理を進めます。</p> <p>また、市内に残る樹林地の多くは民有地であり、土地所有者にとって維持管理作業が大きな負担となっています。このため、土地所有者が樹林地をできるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度により指定した樹林地で土地所有者が行う維持管理への支援を行うことで樹林地を保全します。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面積（樹林地） ＜実績推移＞元年度812.6ha、2年度828ha、3年度847.3ha（見込）、4年度869.9ha（見込） ・緑地保全制度の新規指定面積 ＜実績推移＞元年度47.2ha、2年度28.9ha、3年度60ha（見込）、4年度60ha（見込） ・緑地保全制度の買取等面積 ＜実績推移＞元年度19.2ha、2年度18.9ha、3年度22.6ha（見込）、4年度22.6ha（見込） 								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
森づくりガイド ライン等を活用 した維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	
	か所	実績	175	200					
保全管理計画 の策定	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	
	か所	実績	3	1					
指定した樹林地 における維持管 理の支援	単位	目標	100	100	130	150	100	-	-
	件	実績	122	162					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度：事業開始 ・平成26年度：【公園】保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理事業開始 ・令和4年度 <ul style="list-style-type: none"> ①森の多様な機能に着目した森づくりの推進：通年 ②指定した樹林地における維持管理の支援：募集4～9月、審査7月～11月、事業実施・検査9月～2月 								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	461,824	454,638	7,186	管理面積の増
	②	指定した樹林地における維持管理の支援	174,000	149,750	24,250	申請件数の増
細事業合計			635,824	604,388	31,436	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	清水 恭子	竹内 章裕

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	森を育む人材の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	25,930	0			25,930		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	27,200				27,200		0
増△減	△ 1,270	0	0	0	△ 1,270	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	16,620	25,000	25,000	25,000	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決 算	事業費	11,206	20,167	25,801			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	協働による森づくり活動を希望するボランティアの登録、担い手の育成及び活動支援を実施します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働による森づくり要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】</p> <p>本事業では、市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくりボランティアを対象とした森づくり体験会を開催し、森に関わる「人」の裾野を広げることを目指します。</p> <p>【効果(必要性)】</p> <p>(1) 市民の協働により、横浜の森を次世代に引き継ぐことができます。</p> <p>(2) 市民協働により、良好な森を育成することができます。</p>							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
森づくを担う 人材の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	-
		実績	推進	推進				
森づくり活動 団体への支援	単位	目標	30	30	30	30	30	-
	団体	実績	35	37				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度：事業開始 平成26年度：対象地を公園内樹林地へ拡張 令和元年度：森づくり活動団体への支援に専門家の派遣を導入 令和3年度：森づくり体験会に年間を通じた体験作業を行う継続編を導入 令和4～7年度：研修・団体活動の継続 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森づくりを担う人材の育成	13,930	16,250	▲ 2,320	動画作成が完了したことによる減
	②	森づくり活動団体への支援	12,000	10,950	1,050	道具の貸出しの増加
細事業合計			25,930	27,200	▲ 1,270	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 絃子	草野 泰隆

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	1 項	1 目	
事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	19,510				19,510		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	23,800				23,800		0
増△減	△ 4,290	0	0	0	△ 4,290	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	24,700	26,000	26,000	19,410	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決算	事業費	17,128	14,746	9,823			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや講座の開催により、市民が森に関わるきっかけを提供します。								
事業開始年度	平成26年度								
根拠法令・方針決裁等	市民が森に関わるきっかけづくり事業事務取扱要領								
事業目的・効果 (必要性)	<p>事業目的 普段森に関わることの少ない市民へ森の楽しみ方や魅力を伝え、横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、講座やイベント等を実施し、森に関わるきっかけを提供します。</p> <p>効果(必要性) (1) 森の楽しみづくり 各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなる講座・イベントや広報の取組を展開することで、普段森に関わることの少ない市民へ森の魅力を伝え、森に関わる市民の裾野を広げます。</p> <p>(2) 森に関する情報発信 市民の森、ふれあいの樹林のガイドマップ等を作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進し、市民満足度の向上に繋がります。</p>								
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
イベント等の 実施	単位	目標	36	36	36	36	36	-	-
	回	実績	75	34					
ガイドマップ を作成した樹 林地の数	単位	目標	1	1	1	1	1	-	-
	箇所	実績	1	1					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	平成26年度：事業開始								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森の楽しみづくり	16,310	18,800	▲ 2,490	実績に合わせた減
	②	森に関する情報発信	3,200	5,000	▲ 1,800	実績に合わせた減
細事業合計			19,510	23,800	▲ 4,290	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 絃子	新井 紀子

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1 款	1 項	2 目		
事業名称	良好な農景観の保全事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	90,436	0	0	0	90,436	0	0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	90,760	0	0	0	90,760	0	0
増△減	△ 324	0	0	0	△ 324	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度
予 事業費		109,090	98,680	94,720
算 市債+一般財源		0	0	0
決 事業費		77,154	72,651	68,643
算 市債+一般財源		0	98	593

令和5年度	令和6年度	令和7年度
131,310		
0		

事業概要	<p>農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能などグリーンインフラ（※1）としての多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観も多様です。農業専用地区（※2）に代表される、集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などによる農地を維持する取組を支援します。</p> <p>※1 農地などの自然的環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本 ※2 都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、まとまりのある農地を横浜市独自の制度により指定した地区</p>							
事業開始年度	①水田の保全/水田保全奨励：平成21年度							
	②農景観を良好に維持する活動の支援/牧草等による環境対策への支援：平成21年度、共同利用設備の整備支援：平成21年度							
	③多様な主体による農地の利用促進/農地貸付促進：平成21年度、農地復元：平成23年度							
根拠法令・方針決裁等	①水田の保全 水田保全奨励事業実施要綱 ②農景観を良好に維持する活動の支援 横浜市共同利用設備等設置支援事業補助金交付要綱 横浜市牧草等による環境対策奨励事業実施要綱 ③多様な主体による農地の利用促進 農業経営基盤強化促進法 横浜市農地貸付促進事業奨励金交付要綱 横浜市農地復元支援事業補助金交付要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>(事業目的) 横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家・NPO法人などによる農地を保全する取組を支援します。</p> <p>(効果) ・水田が10年間保全され、良好な景観の形成や生物多様性の保全などの多面的機能が発揮されます。 ・不法投棄をされやすい時間帯に警備者を配置することにより、不法投棄を未然に防止(抑止)します。 ・せん定枝などを堆肥化する取組や牧草等による環境対策への活動が進むことにより、周辺環境と調和した農景観の保全につながります。 ・耕作放棄地や利用程度の低い農地を、新規参入者や意欲的な担い手農家に農地を集積化させることにより、優良農地の保全を図ります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値：年間125haの水田面積 <実績推移>平成28年度120.8ha、29年度119.8ha、30年度117.5ha、令和元年度113.5ha、2年度113.3ha 「横浜のみどりに関する土地所有者意識調査(平成29年7月)」において、「農地を貸すための条件」について「農地の整備(荒廃農地の復元)」と回答した割合：22% 横浜市の「耕作放棄地面積(販売農家)」の面積推移【横浜市の農業(2015農林業センサス結果報告)(政策局)】 <面積推移>平成17年度25.8ha、22年度31.1ha、27年度36.3ha 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
水田保全面積	単位	目標	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	
	ha	実績	113.5	113.3				
夜間警備日数	単位	目標	235	234	234	234	234	
	日	実績	244	235				
	単位	目標						
		実績						

事業スケジュール	<p>①水田の保全 <水田保全奨励> ・4～6月：新規・更新申出受付 ・6～10月：現地調査 ・11～12月：新規・更新承認 ・1～2月：奨励金交付決定 ・3月：支払</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援 <夜間警備委託> ・通年：市内のいずれかの農地を監視</p> <p><横浜市牧草等による環境対策奨励事業> ・4月～以降随時：奨励金交付申出受付、現地調査 ・6月下旬～3月：事業実施報告受付 ・7月上旬～3月末：支払</p> <p><共同利用設備の整備> ・4月～5月末、以降随時：事前申出受付 ・6月上旬～2月：補助金交付申請受付 ・6月下旬～3月末：実績確認、補助金交付</p> <p>③多様な主体による農地の利用促進 <農地貸付促進> ・4～12月：貸借状況の確認 ・1月：交付対象者確定 ・2月：交付決定 ・3月：奨励金交付</p> <p><農地復元> ・～1月末：申出受付 ・～3月末：補助金交付</p>
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	水田の保全		39,900	37,900	2,000
②	農景観を良好に維持する活動の支援		23,916	22,280	1,636	労務単価の上昇等に伴う 増
③	多様な主体による農地の利用促進		26,620	30,580	▲ 3,960	対象面積の減少に伴う減
		細事業合計	90,436	90,760	▲ 324	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	近藤 元子	係長	鈴木 雄大	係 小林 優大
--------------------	----	-------	----	-------	------------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充		新規	拡充	事業評価書番号	1-1-3 1・2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他							
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	1	款	1	項	3	目			
事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業									

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	661,700	12,000			624,700	25,000	0
補助事業	24,000	12,000			1,000	11,000	0
単独事業	637,700				623,700	14,000	0
令和3年度	684,000	25,000		0	619,000	40,000	0
増△減	△ 22,300	△ 13,000	0	0	5,700	△ 15,000	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	717,510	980,900	738,000		684,000		
市債+一般財源	205,000	240,000	80,000		40,000		
決算	830,787	1,041,998	594,241				
市債+一般財源	205,000	240,000	80,000				

事業概要	多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会が多い街路樹を良好に育成するための取組や地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。
------	--

事業開始年度	
--------	--

根拠法令・方針決裁等	(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成 横浜市街路樹による良好な景観の創出事業事務取扱要領、横浜市街路樹による良好な景観の育成事業事務取扱要領、道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹管理基準 (2)-1 シンボリックな緑の創出・育成 都市公園法、横浜市公園条例 (2)-2 公開性のある緑空間の創出支援 横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱 (3) 横浜市名木古木保存事業要綱
------------	--

事業目的・効果 (必要性)	(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成 ○ 街路樹の再生 老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽スペースへの補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。 ○ 街路樹の良好な維持管理 駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。 (2)-1 シンボリックな緑の創出・育成 多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。 また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。 (2)-2 公開性のある緑空間の創出支援 多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対しその費用の一部を助成、支援することで、緑の持つ憩いの場としての機能や緑・花による街の魅力向上や賑わいの向上につなげます。 (3) 名木古木の保存 緑の環境をつくり育てる条例に基づき保存すべき樹木として指定し、地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木をもって潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持します。
------------------	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
街路樹の再生	単位	目標	2	2	2	2	2		
	路線	実績	8	6					
街路樹の良好な維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	路線	実績	推進	推進					
公有地化によるシンボリックな緑の創出	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	2	1					
公有地化によるシンボリックな緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	2	2					
公開性のある緑空間の創出支援	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	1	2					
名木古木の保存 (新規指定)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	27	28					
名木古木の保存 (助成交付)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	40	73					

事業スケジュール	(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成：事業実施(通年)、対象路線選定(8月)、予算とりまとめ(9月)、実績報告(3月) (2)-1基本設計 実施設計 公園整備等 (2)-2受付(例年1月末まで) (3)助成受付(例年1月末まで)、新規指定受付(例年9月末まで)、指定調整会議(12月)
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	街路樹による良好な景観の創出・育成	582,000	582,000	0	
②	シンボリックな緑の創出・育成	62,900	87,200	▲ 24,300	整備内容による減	
③	名木古木の保存	16,800	14,800	2,000	事業調整による増	
細事業合計		661,700	684,000	▲ 22,300		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小田嶋鉄朗	係長 高村暁子	係 石井久美子
--------------------	-------------	------------	------------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-3 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	1 項	3 目	
事業名称	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	102,152				102,152		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	78,514				78,514		0
増△減	23,638	0	0	0	23,638	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	193,667	79,357	79,462	78,514	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決 算	事業費	175,962	65,250	43,093			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠である。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進する。
------	--

事業開始年度	(1) 平成21年度
--------	------------

根拠法令・方針決裁等	(1) 地域緑のまちづくり：緑の環境をつくり育てる条例、横浜市地域緑のまちづくり事業要綱 ほか (2) 人生記念樹の配布：横浜市人生記念樹配布事業要綱
------------	--

事業目的・効果 (必要性)	(1) 地域緑のまちづくり 「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。 ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。市民や企業と連携した緑のまちづくりを行い、市民の生活の身近な場所で緑や花に親しむきっかけを増やします。 (2) 人生記念樹の配布 市民が人生のうちで数々の思い出を残す最も意義深い出生、結婚などの喜びを記念するとともに、市民参加による緑の育成と推進を図るため、記念樹として苗木を配布することにより市民が緑に対する愛着を深め、広く民有地に植樹し、自らの木として守り育て都市緑化の推進に寄与する。
------------------	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
第3期(2019-2023)みどりアップ計画の実施地区	単位	目標	6	6	6	6	6		
	地区	実績	4	4					
苗木の配布	単位	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000		
	本	実績	6,403	6,284					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	(1) 地域緑のまちづくり 新規地区：公募(4~6月)、1次審査(7月)、2次審査(10月)、団体決定(11月)、協定準備期間(1~3月)、協定締結(3月) 継続地区：事業実施(通年) (2) 人生記念樹の配布：受付(通年)、配布(5~6月、10~11月)
----------	---

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	地域緑のまちづくり	92,152	75,514	16,638	協定締結団体の増加による
②	人生記念樹の配布	10,000	3,000	7,000	事業間調整による増
細事業合計		102,152	78,514	23,638	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋鉄朗	高村暁子	橋本悟史

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局 みどりアップ推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 1 1 1 1 1 1	3 目			
事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	14,500				14,500		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	14,500			0	14,500		0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	14,400	14,500	14,500	14,500		
決算	市債＋一般財源	0	0	0	0		
決算	事業費	3,205	7,488	3,339			
決算	市債＋一般財源	0	0	0			

事業概要	次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。							
事業開始年度	平成26年度 (平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化)							
根拠法令・方針決裁等	横浜市民間保育所・学校等緑化助成事業要綱 横浜市民間保育所・学校等緑地維持管理助成事業要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 緑の創出・育成を通じて、緑、花や生き物とふれあったり、育てる体験を通して、子どもの豊かな感性を育むとともに子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけを増やします。</p> <p>①緑の創出 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。</p> <p>②緑の育成 創出した緑(園庭・校庭の芝生等)を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。</p>							
根拠・データ等	民間保育園・幼稚園・小中学校数： 約1100校 (令和2年度こども青少年局提供資料等より)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑の創出	単位	目標	10	10	10	10	10	-
	件	実績	10	2				
緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	-
	件	実績	3	3				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	○ 民間保育園・幼稚園・小中学校への助成：受付(通年)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成		14,500	14,500	0
	細事業合計		14,500	14,500	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田鳴鉄朗	高村暁子	橋本悟史

令和 4年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-3 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	355,550	0			355,550		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	354,050				354,050		0
増△減	1,500	0	0	0	1,500	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	297,700	364,050	313,050	354,050		
算	市債+一般財源	0	0	0	0		
決算	事業費	264,873	321,527	291,538			
算	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。
------	--

事業開始年度	平成26年度
--------	--------

根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準、横浜市都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり事業事務取扱要領
------------	--

事業目的・効果 (必要性)	みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特徴に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。 また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。 あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。
------------------	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑花による空間づくりと維持管理（※123との合計）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	15	15					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	事業実施（通年）、予算とりまとめ（8月）、報告取りまとめ(3月)
----------	----------------------------------

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	355,550	354,050	1,500
	細事業合計	355,550	354,050	1,500	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	高村 暁子	石井 久美子

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	緑地保全推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項
事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	基金繰入金	その他	市債	一般財源
令和4年度	3,748,137	1,013,960	150		21	2,166,000	568,006
補助事業	2,974,403	1,013,960				1,958,000	2,443
単独事業	773,734		150			208,000	565,584
令和3年度	3,926,546	1,125,050	150	0	1,070	2,348,000	452,276
増△減	△ 178,409	△ 111,090	0	0	△ 1,049	△ 182,000	115,730

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
算 市債+一般財源	2,435,511	2,735,360	2,740,031	2,800,424	-	-	
決 事業費	2,540,146	3,806,729	3,905,200				
算 市債+一般財源	2,429,672	2,710,723	2,825,010				

事業概要	市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、法に基づく買入れ申し出や、不測の事態により所有者から買入れ申し出があった場合に対応します。また、民有山林である市民の森、ふれあいの樹林、緑地保存地区、源流の森保存地区の所有者に奨励金等を支出します。
事業開始年度	昭和44年・昭和46年度

根拠法令・方針決裁等	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、緑の環境をつくり育てる条例、横浜市市民の森設置事業実施要綱／横浜市緑地保存事業実施要綱／横浜市源流の森保存事業実施要綱、横浜市市民の森設置事業実施要綱／ふれあいの樹林設置事業実施要綱、(財)かながわトラストみどり財団緑地等保全事業の助成に関する要綱
------------	---

事業目的・効果 (必要性)	みどりアップ計画[2019-2023]に基づき、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐため、5か年で300haの指定を目指して、特別緑地保全地区を始めとする緑地保全制度への指定を積極的に進めます。また、特別緑地保全地区等の指定地で、不測の事態等が発生し、本市への買入れ申し出があった場合には、樹林地の買取りに対応します。
------------------	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 緑被率 (令和元年度調査結果)
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑地保全制度の新規指定面積	単位	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-	-
	ha	実績	47.2	28.9					
緑地保全制度の買取り等面積	単位	想定	23.0	23.0	22.6	22.5	22.5	-	-
	ha	実績	19.2	18.9					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	・年間を通じて、緑地保全制度の指定を進めるとともに、買入れ申し出に対応 ・奨励金等については、随時執行する
----------	--

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	3,253,955	3,627,743	▲ 373,788	買取り想定金額の減
	② 緑地保全地区等奨励金	494,182	298,803	195,379	対象面積の増
細事業合計		3,748,137	3,926,546	▲ 178,409	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	関口 昇	宇野 絃子	野本 武頌

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	1 目	
事業名称	良好な森の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	163,745			6,458			157,287
補助事業 単独事業							0
令和3年度	161,649			6,521			155,128
増△減	2,096	0	0	△ 63	0	0	2,159

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	161,060	161,438	160,932	165,382		
	市債+一般財源	161,048	159,437	158,171			
決 算	事業費	151,879	138,688	155,154			
	市債+一般財源	151,841	132,102	146,758			

事業概要	みどりアップ計画により保全した森を次世代に引き継いでいくため、森に期待される多様な機能が発揮できるよう良好な森づくりを進めます。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例/横浜市民の森設置事業実施要綱/ふれあいの樹林設置事業実施要綱/都市公園法/横浜市公園条例							
事業目的・効果 (必要性)	都市における緑には、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など多くの機能や役割があります。これらを次世代に引き継いでいくためには、これらの機能や役割に配慮した良好な森づくりが求められます。このため、地域の特性を踏まえ、愛護会等と連携して保安全管理計画を策定し、森づくりガイドラインを活用した維持管理を進めます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面積（樹林地） ＜実績推移＞元年度812.6ha、2年度828ha、3年度847.3ha（見込）、4年度869.9ha（見込） ・緑地保全制度の新規指定面積 ＜実績推移＞元年度47.2ha、2年度28.9ha、3年度60ha（見込）、4年度60ha（見込） ・緑地保全制度の買取等面積 ＜実績推移＞元年度19.2ha、2年度18.9ha、3年度22.6ha（見込）、4年度22.6ha（見込） 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
森づくりガイドライン等を活用した維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	-
	か所	実績	141	160				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度：事業開始 ・令和4年度 ①森の多様な機能に着目した森づくりの推進：通年 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	163,745	161,649	2,096	管理面積の増
	細事業合計	163,745	161,649	2,096	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	清水 恭子	竹内 章裕

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	1 目
事業名称	森を育む人材の育成事業				

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	1,000	0			0		1,000
補助事業 単独事業							0
令和3年度	1,000				0		1,000
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	0	1,000	1,000	1,000		
	市債+一般財源	0	1,000	1,000	1,000		
決 算	事業費	0	957	968			
	市債+一般財源	0	957	968			

事業概要	間伐材を活用する研修を開催し、森づくり活動団体の活動で発生する間伐材の有効活用を推進します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働による森づくり要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】 本事業では、市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。 また森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援として研修を行い、発生する間伐材の有効活用についての推進します。</p> <p>【効果（必要性）】 (1) 市民の協働により、横浜の森を次世代に引き継ぐことができます。 (2) 市民協働により、良好な森を育成することができます。</p>							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査（2017年7月～8月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
間伐材マネジメント研修	単位	目標	1	1	1	1	1	-
	箇所	実績	1	1				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・平成21年度：事業開始 ・令和5～7年度：研修の継続							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森づくり活動団体への支援	1,000	1,000	0	
細事業合計		1,000	1,000	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 紘子	草野 泰隆

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	1 目	
事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	41,764					41,764	
補助事業 単独事業						0	
令和3年度	40,000					40,000	
増△減	1,764	0	0	0	0	1,764	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	予 事業費	40,000	42,740	42,740	40,000	
算 市債+一般財源	40,000	42,740	42,740	40,000		
決 事業費	37,262	37,921	39,865			
算 市債+一般財源	37,262	37,921	39,865			

事業概要	横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや情報の発信の拠点として市内5か所でウェルカムセンターを運営し、市民が森に関わるきっかけを提供します。							
事業開始年度	平成26年度							
根拠法令・方針決裁等	ウェルカムセンター運営事務取扱要領、地方自治法							
事業目的・効果 (必要性)	<p>事業目的 森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなる講座・イベントや広報の取組を展開することで、普段森に関わることの少ない市民へ森の魅力を伝え、森に関わる市民の裾野を広げます。</p> <p>効果(必要性) 市内5館にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら専門職員がウェルカムセンターの展示施設を活用し、森を安全に散策するための情報や森の生きもの情報等を発信する「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行います。運営にあたっては意見交換会を行うなどウェルカムセンター5館の連携を高め、効果的に進めていきます。また、ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等を開催することで、市民の森の利用者の増加等、市民が森に関わる機会が増え、森に対する理解がより深まることが期待されます。</p> <p>【ウェルカムセンター5館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜自然観察の森 自然観察センター ・にいはる里山交流センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・寺家ふるさと村 四季の家 ・環境活動支援センター交流スペース 							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023](平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023]事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
周辺の緑を活用したイベント等	単位	目標	10	10	10	10	-	-
	回	実績	8	8				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	ウェルカムセンター5館運営：通年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森に関する情報発信	41,764	40,000	1,764
	細事業合計	41,764	40,000	1,764	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 紘子	新井 紀子

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		農政推進課		新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	1-2-2 1
事業区分	□ 施設等整備費		■ その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	2	目
事業名称	良好な農景観の保全事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	その他	市債	一般財源
令和4年度	162,613	0	0	0	0	0	162,613
補助事業 単独事業							0
令和3年度	149,952	0	0	0	5,000	0	144,952
増△減	12,661	0	0	0	△ 5,000	0	17,661

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	127,147	147,505	149,222	157,625		
	市債＋一般財源	127,147	147,505	144,222	157,625		
決 算	事業費	114,468	139,062	130,562			
	市債＋一般財源	113,981	138,590	129,183			

事業概要	<p>農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能などグリーンインフラ（※1）としての多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観も多様です。農業専用地区（※2）に代表される、集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などによる農地を維持する取組を支援します。</p> <p>※1 農地などの自然的環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本 ※2 都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、まとまりのある農地を横浜市独自の制度により指定した地区</p>							
事業開始年度	①水田の保全／水源確保施設整備：平成26年度、田園景観保全水路整備：平成26年度 ②特定農業用施設保全契約の締結：平成21年度 ③農景観を良好に維持する活動の支援／集団的農地維持管理奨励：平成21年度、土砂流出防止対策：平成21年度、農景観保全のための井戸の改修への支援：令和元年度							
根拠法令・方針決裁等	①水田の保全 農景観保全整備関連事業補助金交付要綱 ②特定農業用施設保全契約の締結 みどり税条例 横浜市特定農業用施設保全事業実施要綱 ③農景観を良好に維持する活動の支援 集団的農地の維持管理事業実施要綱 集団的農地の維持管理事業奨励金交付要綱 農景観保全整備関連事業補助金交付要綱							
事業目的・効果（必要性）	<p>（事業目的） 横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家・NPO法人などによる農地を保全する取組を支援します。</p> <p>（効果） ・水源確保施設への支援により、安定的な用水量が確保でき、水稲の継続的な作付けによる水田の保全が可能になります。 ・特定農業用施設の契約件数が毎年増加し、農地の保全に寄与します。 ・農家団体の自発的な活動により、農地の適切な維持管理が図られます。 ・土砂流出対策を実施することにより、局地的集中豪雨による土砂流出を防ぎ、農地周辺の道路等の環境が保全されます。 ・老朽化した水路の再整備を支援することにより、水稲作付の継続による良好な農景観の保全が図られます。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（水源・水路確保施設整備）：5年間で10箇所の事業実施 <実績推移>平成28年度5箇所、29年度3箇所、30年度3箇所、令和元年度2箇所、2年度3箇所 「横浜の緑に関する土地所有者意識調査」（平成29年／横浜市環境創造局）において、農地を所有し耕作を続けるうえで、「固定資産税の支払いが負担に感じる」ことが課題と考えている割合：農地所有者の29.9% 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（集団的農地維持管理事業）：年間730haでの事業実施 <実績推移>平成28年度723ha、29年度675ha、30年度660.8ha、令和元年度641.7ha、2年度643.9ha 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（土砂流出防止対策）：5年間で15箇所の事業実施 <実績推移>平成28年度6箇所、29年度7箇所、30年度7箇所、令和元年度4箇所、2年度5箇所 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（農景観保全のための井戸の改修への支援）：5年間で5地区の事業実施 <実績推移>元年度2地区、2年度4地区 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
良好に維持されている農地の面積	単位	目標	675.0	690.0	705.0	720.0	730.0	
	ha	実績	641.7	643.9				
水源・水路の確保	単位	目標	2	2	2	2	2	
	箇所	実績	2	3				
	単位	目標						
		実績						

事業スケジュール	<p>①水田の保全 <水源・水路確保施設整備> ・4～6月：地区調整 ・7～2月：補助事業実施 ・3月：検査</p> <p>②特定農業用施設保全契約の締結 <特定農業用施設保全契約> ・4～5月：事前申請受付 ・6～7月：施設用地測量等 ・9～10月：本申請受付・審査会 ・11月：契約締結</p> <p>③農景観を良好に維持する活動の支援 <集团的農地維持管理事業> ・4月：事業実施申出 ・4～1月：活動実施 ・12～1月：実績報告</p> <p><土砂流出防止対策> ・整備補助、緊急対策、土のう等配付（通年）</p> <p><農景観保全のための井戸の改修への支援> ・4～6月：地区調整 ・7～2月：補助事業実施 ・3月：検査</p>
----------	--

（単位：千円）

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	水田の保全	66,557	55,010	11,547
②	特定農業用施設保全契約の締結	2,021	1,895	126	更新案件の増
③	農景観を良好に維持する活動の支援	94,035	93,047	988	事業実施地区の増
細事業合計		162,613	149,952	12,661	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	近藤 元子	係長	鈴木 雄大	係 小林 優大
--------------------	----	-------	----	-------	------------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1 款	2 項	2 目		
事業名称	農とふれあう場づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	その他	市債	一般財源
令和4年度	44,042	0	0	0	1,285	0	42,757
補助事業 単独事業							0
令和3年度	40,750	0	0	0	865	0	39,885
増△減	3,292	0	0	0	420	0	2,872

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	24,044	25,593	35,436	44,042		
	市債+一般財源	22,644	24,193	34,031	42,757		
決 算	事業費	17,059	12,874	17,038			
	市債+一般財源	15,786	11,707	16,594			

事業概要	<p>食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を市内各地で進めます。</p> <p>また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村（※1）や恵みの里（※2）を中心に、市民が農とふれあう機会の提供や、農家への援農活動を支援します。</p> <p>※1：良好な田園景観の保全と地域の活性化を目的に、農作物の生産基盤の整備や、樹林地の保全活用などにより、市民が自然と農業に親しむ場として整備している地域</p> <p>※2：市民と農とのふれあいを通じて、地域ぐるみで農のあるまちづくりを進める地区</p>						
事業開始年度	<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設/市民農園の開設支援：栽培収穫体験ファーム（平成5年度）、認定市民菜園（平成15年度）、環境学習農園（平成19年度）</p> <p>②市民が農を楽しみ支援する取組の推進/ふるさと村設置事業：昭和58年度（補助金は昭和58年、奨励金は平成26年）、恵みの里推進事業：平成6年度（補助・奨励金は平成11年）、農のある地域づくり協定：平成17年度、講座実施による農体験の場の提供：市民農業大学講座（平成9年度）、農体験講座（平成26年度）、援農コーディネーター（平成23年度）</p>						
根拠法令・方針決裁等	<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 市民農園整備促進法、特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、栽培収穫体験ファーム事業実施要綱、栽培収穫体験ファーム補助金交付要綱、横浜市認定市民菜園推進事業実施要綱、横浜市環境学習農園事業実施要綱、横浜市環境学習農園事業補助金交付要綱、横浜市認定市民菜園等整備事業補助金交付要綱、横浜市市民農園コーディネーター事業実施要綱</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援 横浜ふるさと村設置事業実施要綱、横浜市恵みの里推進事業実施要綱、横浜ふるさと村・恵みの里事業推進補助金交付要綱、横浜ふるさと村・恵みの里市民交流事業等奨励金交付要綱、農のある地域づくり協定事業補助金交付要綱、市民農業大学講座実施要綱、家族で学ぶ農体験講座実施要綱、横浜市援農コーディネーター支援事業実施要綱、援農コーディネーター支援事業助成金交付要綱</p>						
事業目的・効果 (必要性)	<p>(事業目的) 食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりにこたえるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を進めるとともに、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農とふれあう機会を提供します。</p> <p>また、農家と地域住民が協働で地域の農環境を保全する取組など、市民による主体的な活動を支援し、これらの取組の情報発信を充実させることにより、市民の利用や参加につなげます。</p> <p>(効果) ・農業体験の場があることで、市民が農業や農地の保全への理解を深めることができ、遊休農地化の抑制につながります。 ・環境学習農園は小学校児童に対する環境教育や体験学習を行うことにより、農業への理解を深めたり、食育の場として活用されています。 ・多くの市民に市内農業とのふれあいの場を提供するだけでなく、市民が主体的に活動し、それを支援する形で地域農業の活性化につながります。 ・実習中心の講座を通じて、小学生から大人まで幅広い層が農作物の栽培や農業の仕組みに対する理解が深まります。</p>						

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なニーズに合わせた農園面積の推移【横浜市中期4か年計画2018～2021における目標値と各年度の達成値】 <ul style="list-style-type: none"> <目標値>令和3年度末：95ha <実績推移>平成29年度76.7ha、30年度81.1ha、令和元年度85.0ha、2年度88.9ha ・「横浜のみどりに関する市民意識調査（平成29年7月）」において、「農に関することで、今後行ってみたいこと」について「市民農園など、一年を通した野菜の栽培」と回答した割合：35.8% ・「横浜のみどりに関する土地所有者意識調査（平成29年7月）」において、今後農業を続けられない人のうち「所有する農地はどのように管理するか」に対して「市民農園として貸し出す」と回答した割合：16.9% ・「横浜のみどりに関する市民意識調査（平成29年7月）」において、「農に関することで、今後行ってみたいこと」について「イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験」と回答した割合：39.5% ・市民農業大学講座 修了・認定実績 <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成30年度58人、31年度42人、令和2年度33人 ・家族で学ぶ農体験講座 参加者実績 <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成30年度37人、31年度36人、令和2年度10人 																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業指標</th> <th>年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">様々なニーズに合わせた農園面積</td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ha</td> <td>実績</td> <td>1.3</td> <td>1.11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	様々なニーズに合わせた農園面積	単位	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			ha	実績	1.3	1.11							単位	目標									実績									単位	目標									実績						
事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度																																																																		
様々なニーズに合わせた農園面積	単位	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																																																																				
	ha	実績	1.3	1.11																																																																							
	単位	目標																																																																									
		実績																																																																									
	単位	目標																																																																									
		実績																																																																									

様々なニーズに合わせた農園面積	単位	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	ha	実績	1.3	1.11					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 <市民農園の開設支援> ・通年：新規開設相談対応・事務手続き支援 ・通年：農園管理運営支援 ・農園施設整備支援（原則12月までに申請受付）</p> <p>②市民が農を楽しむ支援する取組の推進 <ふるさと村、恵みの里農体験教室・収穫体験> ・通年：奨励金</p> <p><ふるさと村、恵みの里事業推進> ・通年：補助事業</p> <p><農のある地域づくり協定> ・通年：既存締結地区の協定事業の推進</p> <p><講座の実施による農体験の場の提供> ・12～2月：企画・起案 ・4月～：講座の開催</p>							
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	15,688	16,900	▲1,212	施設整備補助金の実績に伴う減
②	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	28,354	23,850	4,504	農体験拡大のための調査に伴う増	
細事業合計		44,042	40,750	3,292		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	近藤 元子	係長	鈴木 雄大	係	小林 優大

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農業振興課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-2 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	1 款	2 項	2 目			
事業名称	市民や企業と連携した地産地消の展開事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	15,900			120	0	15,780
補助事業 単独事業						0
令和3年度	16,920			180		16,740
増△減	△ 1,020	0	0	△ 60	0	△ 960

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	22,673	9,900	16,700
市債+一般財源	22,493	9,720	16,520
事業費	18,860	6,524	5,276
市債+一般財源	18,692	6,344	5,276

令和5年度	令和6年度	令和7年度
14,358		
14,358		

事業概要	<p>「食」と「農」をつなぐ人材の育成、活動の支援、ネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等との連携を推進します。また、生産者・事業者・消費者など地産地消に関わる様々な主体のネットワークの充実を図ります。</p>							
事業開始年度	<p>(1)地産地消を広げる人材の育成 ・はまふうどコンシェルジュの育成(平成17年度) ・地産地消活動の発表と情報交換の場の設定(平成26年度) (2)市民や企業等との連携 ・企業等との連携の推進(平成23年度) ・地産地消ビジネス創出の推進(平成26年度) ・学校給食での市内産農産物の利用促進(平成15年度)</p>							
根拠法令・方針決裁等	<p>横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、横浜市内地産地消推進会議設置要綱 横浜市はまふうどコンシェルジュ活動事業補助金等交付要綱、よこはま地産地消サポート店登録支援要綱 横浜市内地産地消ビジネス創出支援事業実施要綱、横浜市内地産地消ビジネス創出支援事業補助金交付要綱 地産地消関連事業方針</p>							
事業目的・効果(必要性)	<p>地産地消の取組は、従来から農家が行っている直売所や朝市などでの農産物の販売だけでなく、市民や企業、学校など、様々な主体が実施する活動へと発展してきています。この動きを更に拡大すべく、地産地消に関わる人材の育成と併せ、こうした人材や企業等と連携した取組の強化が必要です。そこで、「はまふうどコンシェルジュ」などの事業により、「食」と「農」をつなぐ人材の育成、活動の支援、ネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等との連携を推進します。こうした取組により、生産者・事業者・消費者など地産地消に関わる様々な主体のネットワークの充実を図ります。</p>							
根拠・データ等	<p>・はまふうどコンシェルジュの活動支援等の過年度実績【横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度)の評価・検証(令和元年6月)】 <実績推移>平成26年度：14件、平成27年度：22件、平成28年度：27件、平成29年度：23件、平成30年度：24件</p> <p>・はま菜ちゃん料理コンクール応募作品数の過年度実績 <実績推移>平成15年度：57点(第1回)、平成26年度：1,362点、平成27年度：1,430点、平成28年度：1,595点、平成29年度：1,837点、平成30年度：2,015点</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
市民・企業等と連携した地産地消の取組数	単位	目標	40	44	44	44	44	
	件	実績	41	45				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-31
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	3	目	
事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業								

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	111,485	5,000				4,000	102,485
補助事業	10,000	5,000				4,000	1,000
単独事業	101,485						101,485
令和3年度	114,485						114,485
増△減	△ 3,000	5,000	0	0	0	4,000	△ 12,000

歳出	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源
事業費	278,161	95,855	147,055			113,485					
市債+一般財源	278,161	95,855	147,055			113,485					
決算	217,381	89,652	99,709								
市債+一般財源	217,381	89,652	99,709								

事業概要	多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会が多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。								
事業開始年度									
根拠法令・方針決裁等	(1) 緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準、横浜市公共施設・公有地での緑の創出事業事務取扱要領、横浜市公共施設・公有地での緑の育成事業事務取扱要領 (2) 公開性のある緑空間の創出支援 横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱 (3) 横浜市建築物緑化保全契約手続要綱 (4) 横浜市名木古木保存事業要綱								
事業目的・効果(必要性)	(1) 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理することで、市民が実感できる緑や地域の景観形成、賑わいの創出を図ります。 (2) シンボリックな緑の創出・育成事業では、公開性のある緑空間の創出支援のため、多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対しその費用の一部を助成、支援することで、緑の持つ憩いの場としての機能や緑・花による街の魅力向上や賑わいの向上につなげます。 (3) 建築物緑化保全契約の締結事業では、緑豊かな都市景観を形成し、生活に潤いと安らぎを与える緑化の推進と緑地の保全のため、緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者(管理者)の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減する。 (4) 名木古木の保存は、緑の環境をつくり育てる条例に基づき保存すべき樹木として指定し、地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木をもって潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持する。								
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
公共・公有地での緑の創出	単位	目標	7	7	7	7	7		
	か所	実績	4	12					
公共・公有地での緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	推進	推進					
公開性のある緑空間の創出	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	か所	実績	1	2					
建築物緑化保全契約の締結(新規)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	1	2					
建築物緑化保全契約の締結(再契約)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	34	13					
名木古木の保存(新規指定)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	27	28					
名木古木の保存(助成交付)	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進		
	本	実績	40	73					
事業スケジュール	(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成：事業実施(通年)、事業説明会(8月)、予算取りまとめ(9月)、実績報告(3月) (2) 受付(4~1月) (3) 受付・契約の締結(通年) (4) 助成受付(通年)、新規指定受付(4~11月)、指定調整会議(12月)								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	公共・公有地での緑の創出・育成	108,000	106,000	2,000
②	シンボリックな緑の創出・育成(公開性のある緑空間の創出支援)	1,205	4,205	▲ 3,000	事業間調整による減
③	建築物緑化保全契約の締結	1,000	1,000	0	
④	名木古木の保存	1,280	3,280	▲ 2,000	事業間調整による減
細事業合計		111,485	114,485	▲ 3,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋鉄朗	高村暁子	石井久美子

令和 4年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	3	目
事業名称	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	59,680					59,680	
補助事業 単独事業						0	
令和3年度	68,680					68,680	
増△減	△ 9,000	0	0	0	0	△ 9,000	

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	8,835	53,680	63,680	60,000		
決算	市債+一般財源		53,680	63,680	60,000		
予算	事業費	3,569	42,813	51,511			
決算	市債+一般財源	3,569	42,813	51,511			

事業概要	緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。
事業開始年度	平成31年度

根拠法令・方針決裁等	(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり：都市公園法、横浜市公園条例、道路法、各区における「地域に根差した緑や花の楽しみづくり」実施要綱、横浜市緑化推進関係団体事業補助金交付要綱(仮) (2) 人生記念樹の配布：横浜市人生記念樹配布事業要綱
------------	--

事業目的・効果 (必要性)	(1) 緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。 また、第33回全国都市緑化よこはまフェア以降、ガーデンネックレス横浜の取り組みを通じ、多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を引き続き推進し、2027年の「国際園芸博覧会」の開催につなげます。 (2) 市民が人生のうちで数々の思い出を残す最も意義深い出生、結婚などの喜びを記念するとともに、市民参加による緑の育成と推進を図るため、記念樹として苗木を配布することにより市民が緑に対する愛着を深め、広く民有地に植樹し、自らの木として守り育て都市緑化の推進に寄与する。
------------------	---

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会への球根・多年草配布実績 【元年度】多年草：1872株 224公園 【2年度】多年草：4,000株 243公園、球根106,680球 967公園 外部意見を聴取する仕組みとして、「横浜みどりアップ計画 [2019-2023] 」として、「横浜みどりアップ計画市民推進会議」に評価及び意見・提案等をもらっている。 横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
18区での地域に根差した花や緑の取組	単位	目標	18	18	18	18	18		
	件/年	実績	18	18					
苗木の配布	単位	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000		
	本	実績	6,403	6,284					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	(1) 事業実施 (通年)、区への事業説明 (7月)、予算取りまとめ (9月)、実施報告 (3月) (2) 受付 (通年)、配布 (5~6月、10~11月)
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	①	地域に根差した緑や花の楽しみづくり	58,000	60,000	▲ 2,000	各区の実施計画の集計に基づく減
	②	人生記念樹の配布	1,680	8,680	▲ 7,000	事業間調整による減
細事業合計			59,680	68,680	▲ 9,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小田嶋鉄朗	係長 大浦康史	係 松田真依
--------------------	-------------	------------	-----------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-3 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計		1	款	2	項	3	目	
事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業								

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	68,000					68,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	67,000					67,000
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	62,251	63,186	64,999	68,000		
	市債+一般財源	62,251	63,186	64,999	68,000		
決算	事業費	52,201	54,987	55,431			
	市債+一般財源	52,201	54,987	55,431			

事業概要	次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。							
事業開始年度	平成26年度 (平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化)							
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準 横浜市市立保育所・学校等緑化事業事務取扱要領 横浜市市立保育所・学校等緑地育成事業事務取扱要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 緑の創出・育成を通じて、緑、花や生き物とふれあったり、育てる体験を通して、子どもの豊かな感性を育むとともに子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけを増やします。 (このうち、1項では民間施設への助成事業を、2項では公立施設における緑化事業を実施します。)</p> <p>①緑の創出 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。</p> <p>②緑の育成 創出した緑(園庭・校庭の芝生等)を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。</p>							
根拠・データ等	公立保育園・小中学校数： 約550校 (令和2年度市立学校現況等より) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑の創出	単位	目標	10	10	10	10	10	
	件	実績	33	39				
緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	
	件	実績	112	117				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	○公立保育園・小中学校の整備：事業実施(通年)、予算取りまとめ(8月)、実績報告(3月)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	68,000	67,000	1,000	各区局の計画を踏まえた増
細事業合計		68,000	67,000	1,000		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋鉄朗	高村暁子	橋本悟史

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-3 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	3 目	
事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	336,350	0				336,350
補助事業 単独事業						0
令和3年度	451,800					451,800
増△減	△ 115,450	0	0	0	0	△ 115,450

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	30,000	408,460	455,200	451,800		
算 市債+一般財源	30,000	408,460	455,200	451,800		
決 事業費	28,677	478,342	392,102			
算 市債+一般財源	28,677	478,342	392,102			

事業概要	第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。						
事業開始年度	平成26年度						
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準、横浜市都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり事業事務取扱要領						

事業目的・効果 (必要性)	みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。 あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。						
------------------	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書						
---------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑花による空間づくりと維持管理（※123との合計）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	
	か所	実績	15	15				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						

事業スケジュール	事業実施（通年）、予算とりまとめ（8月）、報告取りまとめ(3月)						
----------	----------------------------------	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	336,350	451,800	▲ 115,450	緑化内容の変更等による減
	細事業合計	336,350	451,800	▲ 115,450	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	高村 暁子	石井 久美子

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	4	目
事業名称	市民の理解を広げる広報の展開事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	14,700						14,700
補助事業 単独事業							0
令和3年度	16,400						16,400
増△減	△ 1,700	0	0	0	0	0	△ 1,700

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予	事業費	16,957	17,800	16,400	23,783		
算	市債＋一般財源	16,957	17,800	16,400	23,783		
決	事業費	14,235	13,932	11,185			
算	市債＋一般財源	14,235	13,932	11,185			

事業概要	横浜みどりアップ計画の取組内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的に市民にお知らせし、理解を深めていただくとともに、緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供します。							
事業開始年度	平成23年度							
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、横浜みどりアップ計画 [2019-2023]							
事業目的・効果 (必要性)	みどりアップ計画は「横浜みどり税」を一部財源としており、市民の皆様には計画の理解を深めていただくため、緑の減少に歯止めをかける3つの計画の柱とともに「効果的な広報」を重点的な取組として定め進めています。 本事業では、広報よこはまや取組実績をまとめたリーフレットの自治会町内会の全戸回覧、市役所等のデジタルサイネージや交通広告での映像放映などの取組成果の周知に加え、緑に関するイベントやSNS等で事業PRを行うことで、市民の皆様の計画の理解浸透や取組の参加促進を図ることを目的としています。							
根拠・データ等	<p>横浜市からのお知らせ等を知る方法 (R2年度認知度調査報告書より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報よこはま等の広報紙 <推移> R2: 68.7% R1: 71.9% H30: 70.6% ・ 自治会・町内会の回覧 <推移> R2: 37.8% R1: 41.5% H30: 40.0% ・ 公共交通機関(電車やバスなど)の広告 <推移> R2: 11.7% R1: 17.0% ・ 公共施設でのチラシ・ポスター(デジタルサイネージ)など <推移> R2: 9.3% R1: 15.4% H30: 13.3% ・ SNS【対前年比: 2.9ポイント増】 <推移> R2: 6.1% R1: 3.2% 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
SNS等PR・イベント出展回数	単位	目標	17	17	17	17	17	-
	回	実績	17	15				
	単位	目標						
	%	実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23～令和3年度：上記取組を実施 ・ 令和4年度以降：上記取組の継続 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	計画の周知や実績報告		14,700	16,400	▲ 1,700
	細事業合計		14,700	16,400	▲ 1,700	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	坂井 和洋	係長	中城 佳子	係	櫻井 裕規
--------------------	----	-------	----	-------	---	-------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-4-1 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	4	項
事業名称	元金		1	目		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,789,644					1,789,644
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	1,554,761					1,554,761
増△減	234,883	0	0	0	0	234,883

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
市債+一般財源	1,235,105	1,340,441	1,449,983	1,818,322	1,957,609	2,009,802	
決算	1,157,172	1,280,694	1,447,475				
市債+一般財源	1,154,172	1,280,694	1,447,475				

事業概要	みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市特別会計設置条例							
事業目的・効果 (必要性)	みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画[2019-2023] (30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成21年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	元金	1,789,644	1,554,761	234,883	市債発行残高の増による
細事業合計		1,789,644	1,554,761	234,883		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	坂井 和洋	木下 博文	福田 香

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-4-2 1		
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	4	項	2	目
事業名称	利子							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	169,041					169,041	
補助事業						0	
単独事業						0	
令和3年度	175,951					175,951	
増△減	△ 6,910	0	0	0	0	△ 6,910	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	230,590	230,713	211,264			168,667	169,125	189,754
市債+一般財源	230,590	230,713	211,264			168,667	169,125	189,754
事業費	210,914	212,252	198,910					
市債+一般財源	210,914	212,252	198,910					

事業概要	みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市特別会計設置条例							
事業目的・効果 (必要性)	みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画[2019-2023] (30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成21年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	利子	169,041	175,951	▲ 6,910	元金償還金利子の減
細事業合計		169,041	175,951	▲ 6,910		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	坂井 和洋	木下 博文	福田 香

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	4 項	3 目
事業名称	公債諸費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	41,445					41,445
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	24,750					24,750
増△減	16,695	0	0	0	0	16,695

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
市債+一般財源	16,023	13,274	21,750	48,393	53,267	42,456	
決算	10,881	9,575	5,425				
市債+一般財源	10,881	9,575	5,425				

事業概要	みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市特別会計設置条例							
事業目的・効果 (必要性)	みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画[2019-2023] (30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成21年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	公債諸費	41,445	24,750	16,695	市債発行手数料の増による
細事業合計		41,445	24,750	16,695		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	坂井 和洋	木下 博文	福田 香

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	5 項	1 目
事業名称	予備費				

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	1,000				1,000		0
補助事業							0
単独事業							0
令和3年度	1,000				1,000		0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決算	事業費	0	0	0			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市特別会計設置条例							
事業目的・効果 (必要性)	みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜みどりアップ計画[2019-2023] (30年11月) ・横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・平成21年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	公債諸費	1,000	1,000	0	
細事業合計		1,000	1,000	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	坂井 和洋	木下 博文	福田 香